

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月24日（金）

2 確認箇所

- ・淡水化装置RO3（図1）
- ・モニタリングポストNo.8（MP-8）（図1）

3 確認項目

- （1）淡水化装置RO3の状況
- （2）MP-8の設置状況

4 確認結果の概要

（1）淡水化装置RO3の状況

淡水化装置RO3は、原子炉注水用の淡水確保に資する施設の一つとして設置され、建屋滞留水に含まれる塩分の除去に使用している。

本日は、現在の淡水化装置RO3の状況を確認するとともに、令和6年5月17日に漏えいが確認された淡水化装置RO3-2の計装チューブの状況を確認した。（前回確認：[令和7年5月23日](#)）

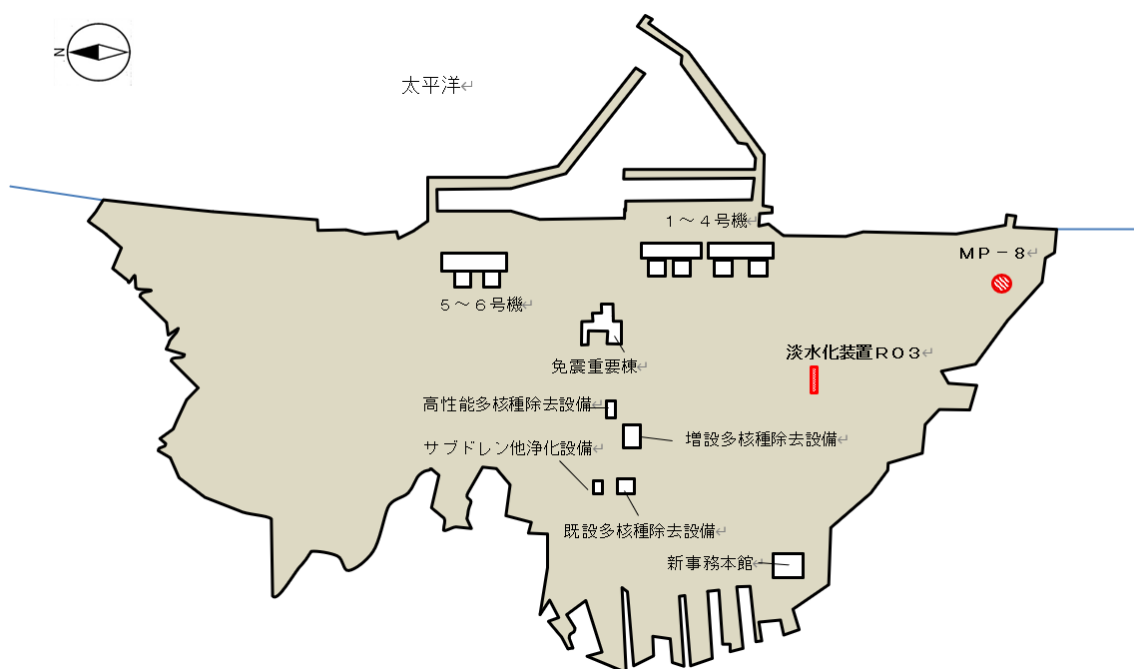
- ・現場確認時、淡水化装置RO3は停止していた。（写真1）
- ・パトロール員が現場を確認しており、淡水化装置が停止中でも毎日現場確認を実施しているとのことだった。（写真2）
- ・過去に漏えいのあったRO3-2の計装チューブは緩衝材で保護されており、引き続き漏えい防止策がなされていた。また、淡水化装置の他類似箇所を確認し、緩衝材の設置状況に問題がないことを確認した。（写真3）
- ・確認した範囲では、配管、チューブ等からの水の漏えい等の異常は確認されなかった。

（2）MP-8の設置状況

福島第一原子力発電所の敷地境界付近には、モニタリングポスト（以下「MP」という。）が8か所設置されている。今回は、これらMPのうち、敷地境界の最も南側に設置されているMP-8の設置状況について確認した。（前回確認：[令和7年1月9日](#)）

- ・周辺の地面はコンクリート又はアスファルトで舗装されていた。また、南西側は敷地外の松林などからの放射線の影響を受けやすい状況であることから、MPの放射線検出器は、鉄板の間にコンクリートを打設した遮へい壁で囲われていた。（写真4）

- ・確認した範囲では、放射線検出器やMP局舎内に設置されたダストモニタ吸引口等の外観に異常は確認されなかった。（写真5）
- ・積算線量計周辺（遮へい壁付近）では、地面からの放射線による影響を防ぐため、鉛板が敷かれていた。（写真6）
- ・MP-8周辺の側溝に落ち葉や枯れ木によるつまりは確認されなかった。（写真7）
- ・東京電力によれば、MP-8は週に1回巡視し、また、周辺の側溝等の清掃を月に1回実施しているとのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
淡水化装置RO3建屋外観



(写真1-2)
淡水化装置RO3建屋内部



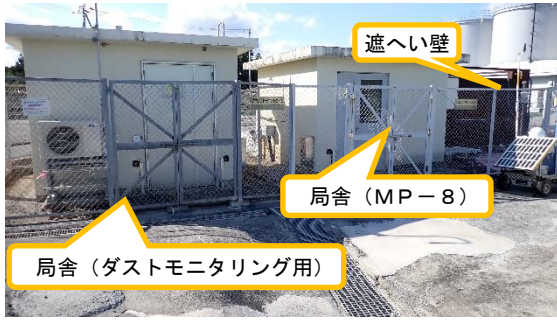
(写真1-3)
逆浸透膜の処理ユニットの設置状況
※淡水化装置RO3の一部



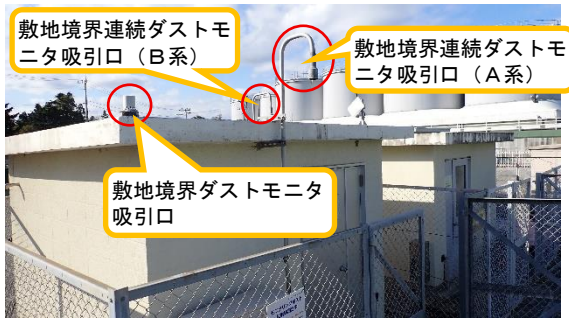
(写真2)
パトロール員による現場確認の様子



(写真3)
緩衝材の設置状況



(写真4)
MP-8の外観



(写真5)
敷地境界ダストモニタ吸引口の状況



(写真6)
積算線量計の設置状況



(写真7)
MP-8周辺の側溝の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。